

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城南中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学)

- | |
|--|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。 |
|--|

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

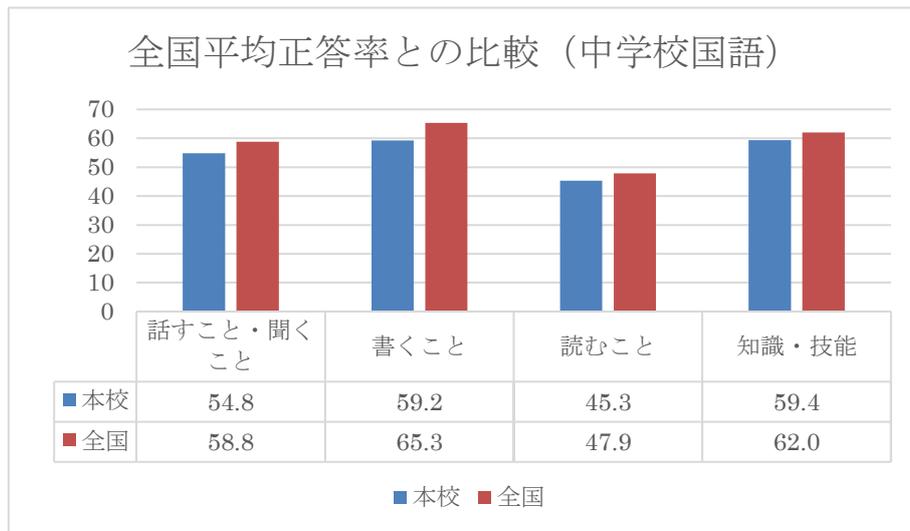
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全国平均をやや下回る結果でした。知識及び技能の中で「情報の扱い方に関する事項」については 0.4 ポイント上回っていますが、各内容領域についてはいずれも 2～6 ポイント下回っています。また、「自分の考えを書く」「本文の内容を要約して書く」問題での無解答率が高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「情報を視覚的に捉え、文章と結び付けること」や「因果関係を直接読み取ること」に関して正答率が全国平均を上回っています（それぞれ+5.3 ポイント、+0.8 ポイント）。また、「文脈に即して正しい漢字を書くこと」や「資料から意見と根拠など情報と情報との関係を読み取ること」に関して、全国平均に近い結果（それぞれ-0.8 ポイント、+0.9 ポイント）となっています。授業の中で、資料や本文の内容を丁寧に読み取る活動を行ったり、家庭学習の一環として漢字の書き取りに取り組んだりしている成果が表れていると考えられます。

一方で、課題は、「書くこと」の正答率(-6.1 ポイント)を上げることです。また、「記述式」の問題の無解答率が全国に比べ 13～21 ポイントほど高いため、生徒に自分の考えをまとめたり、文章の内容をまとめたりすることを通して、書くことによって表現する力を日々の授業で付けていくことが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

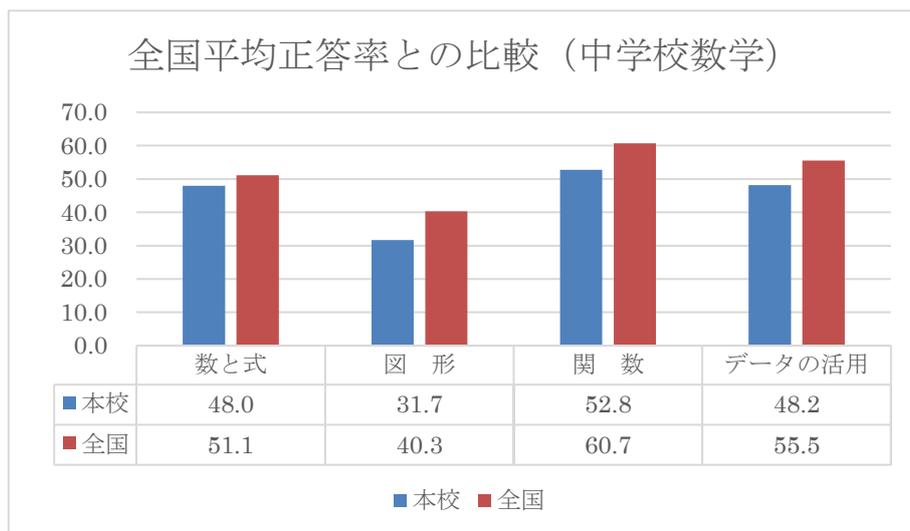
【学校では】

- 生徒が『学び合い』を通して、主体的・対話的で深い学びができるように工夫し、単元の前後に見通しと振り返りをします。
- 学習課題に沿って文章を適切に読み取れるように、発問、ノート、ワークシートなどを工夫します。また、授業の中で目的や条件に沿って書く場面を作ります。自分の考えや根拠を明確にして書く機会を増やします。
- 漢字の読み書き、慣用句や四字熟語などの語句の学習を積み重ね、語彙力を付けます。

【ご家庭では】

- 文章の要点や意図を捉える練習として、新聞やインターネットニュースのコラムに書いてある内容について家庭で話し合う機会を作ってください。
- 漢字練習の課題を根気よく丁寧にしてほしいと思います。漢字仮名交じり文の日本語を、確実に読み取るためには漢字の習得が欠かせません。繰り返し書いて覚えることが大切です。
- 「いつ、だれが、どこで、何を、どうした（5W1H）」などが分かるような話し方をするよう心がけてください。

2 数学



(1) 結果

すべての内容領域で全国平均正答率を下回っています。また、無解答率を見ると、記述により説明する問題で全国平均より高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「数と式」領域の正負の数の加法や等式の変形の問題の正答率が、全国平均正答率をそれぞれ 0.6 ポイント、3.7 ポイント上回っていました。これまでの授業で練習問題や復習問題に取り組んだり、定期的に小テストを実施したりしたことによる成果であると考えられます。

一方で、「データの活用」領域では、中学 2 年生で学習する箱ひげ図の問題が出題されましたが、問題把握のための問題文の読解ができていないこと、年度末に学習した内容だったために定着が図れなかったことなどの要因から、全国平均に比べ正答率が低くなっていました。また、どの内容領域についても、図やグラフを正しく読み取り、数や式、文字、数学用語を使いながら数学的な見方や考え方を働かせて説明をする問題に課題が見られ、無解答率も全国平均に比べ、4～10 ポイント高くなっていました。日々の授業で、問題文を正しく読み取り、できるだけ数学用語を使いながら、その用語を活用して説明する取り組みが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 『学び合い』の考え方を軸とした授業を行い、基本的な計算問題が確実にできるようになるよう、授業中の活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、数や式、言葉を使って説明したり、筋道を立てて論理的に書いたりする機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- どの内容領域についても、既習事項との関連を意識させながら問題に取り組ませます。

【ご家庭では】

- 授業で取り扱った内容を、再度、ワークなどを活用して家庭で取り組んでほしいと思います。学習内容を早い段階で振り返ることで知識や技能の定着が高まることが期待されます。ぜひ励ましの言葉かけをお願いします。
- 一人一台端末を活用し、現在学習している内容だけでなく、既習事項についての復習も行い、つまづきのある単元や内容領域の把握・克服に取り組んでほしいと思います。
- 日常生活の場面で、数学が用いられている事象（例：建造物から形の名称や面積、体積を考えると、等）を見つけ、既習事項や学習内容と関係づけながら考えてみてほしいと思います。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	85.4%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	43.8%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	64.9%	55.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	81.6%	77.5%
人が困っているときは、進んで助けていますか。	47.0%	38.3%
将来の夢や目標を持っていますか。	35.7%	36.1%

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切に、習慣として身に付けていくことは大切なことです。また、いじめはいけないことだと言えたり、人が困っているときに助けたりすることができる生徒が全国平均を上回り、規範意識が高い生徒が多いことがうかがえました。一方で、将来の夢や目標に関する項目については、全国平均と同じくらいのポイントで、今後高校進学や就職を考える中で、自分自身を見つめ、キャリア形成につなげていく必要性を感じました。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
○学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。		
「3時間以上」	5.9%	9.2%
「2時間以上、3時間より少ない」	16.8%	22.5%
「全くしない」	5.9%	6.6%
○放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。		
「家で勉強や読書をしている」	44.9%	46.1%
「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用したりしている」	90.3%	88.6%

家庭学習については平日に2時間以上の学習に取り組んでいる生徒が全国平均を下回っていました。また、全く家庭学習をしていない生徒もいるようです。授業の復習は、定期的に、繰り返すことで、知識の定着につながり、学力が向上します。また、放課後や週末の時間の過ごし方についても、家庭で勉強・読書をしている生徒と、テレビや動画、ゲーム、SNS などを利用している生徒とでは、後者の方が多い様子が見えます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

○今年度は、「気付き、考え、行動する」を合言葉に、ノルティーを活用して、学習の計画や中長期的なスケジュールの把握に努めさせています。学校では、家庭学習の必要性や大切さについて伝え、自分で計画的に学習に取り組めるよう授業や家庭でどのような学習をすればよいか話をしていきます。

【ご家庭では】

- 学校だより、学年だより、授業プリント等をご覧になり、お子様と学校に関する会話をし、コミュニケーションを取っていただきたいと思います。
- 短期的な目標と中長期的な目標をもって生活できるように励ましの声かけなどを今後もお願いします。また、情報通信機器を使っている時間が長すぎる生徒も見られます。使い方については、ご家庭でしっかりと話し合い、各家庭のルールを決めていただくようにお願いします。